

市議会9月定例会にあたって



米原市民報

日本共産党米原市会議員
山脇正孝 Tel.52-1093
日本共産党湖北地区議員団
事務局藤田正雄 Tel.55-1128

<http://www.jcp-maibarashigidan.com/>

働き方改革と防災対策を実効あるものに

第3回定例会は8月31日から9月26日まで開催されます。報告4件、諮問6件、承認1件、認定9件、議案13件、計33件の議案が提案されます。また、2件の追加議案が提案される予定です。

定例会日程は次のとおり
 ・8月31日開会・議案説明
 ・9月5・6日・一般質問
 ・9月10・11・12日・常任委員会
 9月13・14・18日・決算特別委員会
 ・9月20日予算常任委員会
 ・9月26日・最終日
 山脇正孝議員の一般質問の概要(予定)は次のとおり。(質問の日程は未定)

教職員の働き方改革は

①「米原市教職員働き方改革取組方針」において、目標指標「超過勤務時間が月40時間超の教員の割合を1割減らします」と定めているが、目標指数を達成するため何を取り組んでいるか。

②定時退勤日に教職員は退勤時刻に帰れているか。また、定時退勤できるよう管理職にどのような指導を行っているか。
 ③定時退勤日以外の平日の勤務縮減の対策はどうなっているか。
 ④小学校各学年担任の持ち時間授業数はそれぞれ何時間ぐらいあるか。その時数を減らすために、専科教員



等の配置はどうなっているか。また市で持ち時間削減のために、どんな工夫をしているか。
 ⑤勤務時間外には留守電対応をすべきだと考える。
 ⑥指導要録の電子化を進めるべきであるが、各校の現状はどうか。事務の効率化のために、指導要録作成のソフトを導入すべきだと考えるが。

竜巻災害の教訓と被災者救済は

①竜巻発生後に災害対策本部が近江庁舎に設置されたが、翌日には山東庁舎へ移設された。どうしてはじめから災害地元の山東庁舎に設置しなかったか。
 ②新庁舎の供用開始後、新庁舎に人と機能を集中させ、災害対策本部体制を常設するとしている。新庁舎で司令を行い、災害後、伊吹、近江に置かれる市民自治センターに職員を派遣する体制で今回の竜巻のような地域的な突発災害に迅速に対応できるのか。

障がい者の避難計画は適切か

①第3期米原市障がい者計画による個別避難計画の対象となる1人ひとりの避難
 ②車いすなどの障がい者は急には避難が困難であるので、災害情報や避難情報で迅速かつ正確に伝える必要があるが、防災アプリや放送内容確認電話システム、専用タブレットが利用できない場合が多い。障がい者の用の伝達ルートを確認すべきであるがどうか。
 その他「ニホンザルの害をなくす方策について」など生の核にできるのではない質問予定です。

「米原革新懇」は「米原市のまちづくりについて共に学びましょう」として講演会・研修会の参加を呼びかけています。参加費や予約は不要です。是非参加下さい。

・日時 9月8日(土) 14時～16時
 ・場所 米原公民館3階団体研修室
 ・講師 龍谷大学名誉教授 高橋 進氏
 ・他 市職員による現地出前講座

雑感 米原市と関ヶ原町にまたがる山林に「ジャパン・リニューアブル・エナジー」が計画していた大規模な風力発電施設について、計画の一時凍結を市・地元自治会に伝えたとのこと。地元自治会は「風車騒音による健康被害の懸念などで反対を決議し、県は「イヌワシ・クマタカ」の保護、生息環境保全」で、影響を回避できない場合は、事業中止も含めて計画を抜本的に見直すよう求めていた。これは凍結ではなく中止すべき。先の台風での淡路島の風車倒壊はひどい。